

16:17 兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。

16:18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。

16:19 あなたがたの従順はすべての人に知られているので、私はあなたがたのことを喜んでいます。しかし、私は、あなたがたが善にはさどく、悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。

16:20 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

16:21 私の同労者テモテが、あなたがたによろしくとっています。また私の同国人ルキオとヤソンとソシパテロがよろしくとっています。

16:22 この手紙を筆記した私、テルテオも、主にあってあなたがたにごあいさつ申し上げます。

16:23 私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくとっています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくとっています。

16:24 [本節欠如]

16:25 私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の

命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、

16:26 [前節に合節]

16:27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

教会には神様の力になる人もいれば、まれに妨げとなる人が現れることがあるのも現実です。それは罪が大きいとか、人格的に未熟だとかいうものではありません。そのような人はみことばと聖霊による交わりで、成長してゆくのが教会であり、主のみことです。

教会が警戒すべきなのは、その人によって永遠の命が妨害されるときです。求道者のつまずきになるとか、教会に分裂をもたらすというのがそうです。また神様の「教えにそむいて」、福音を歪めてしまう場合も警戒しなくてはなりません。

もちろんその人をも愛すべきですが、つまずきによって永遠の命の危機があるなら、そのような被害を受けた人々や受けそうな人々をも愛さなくてはなりません。

分裂やつまずきなど、救いの妨げをする人は、その人のためにもそれ以上の悪をしないようにさせる必要があります。「警戒」が必要です。もちろん、自分自身もそうならないように、謙遜になって省みることも必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

